

市立御前崎総合病院 花の会 【温暖化防止と癒し】

功績

1986年の開設当初から外来棟2階部分（1,000 m²）に土を入れ、蔦やクローバーを植え病室内に照り返しが無いように考慮。さらに整備して季節の花が咲く花畑にしようと計画し、景観にも配慮しています。

6年ほど前から地球温暖化防止に興味を持ち、同じフロアの土のある天井内部分とコンクリ部分の天井内温度を継続測定し、花畑のある天井内はコンクリ部分に比べ、夏は温度が低く、冬は温度が高いことが実証されました。温度測定により、病院の使用電力量を二酸化炭素量に換算すると、屋上緑化による空調負荷削減効果は年間約11tあり昨年は13tでした。これらの結果を6年前から癒しの環境研究会全国大会で発表し、その有益性を伝えています。

花畑は人を癒すだけでなく、地球温暖化防止の意識改革になればと考えています。